

## 米国留学レポート 6

1年次在籍

市原 柳奈子

残りの滞在期間が2か月程となる中、今年度の学校も終わりへと近づいています。日本とは違い、8月から学校が始まり、終わるのは5月末です。最近は何教科で、締めくりとなるイベントがありました。また、初めてのイースターを体験し、日食を見たりなどもしました。

締めくりとしての大きなイベントとして、コーラスのコンサートがありました。これは、コンサートといえばコンサートなのですが、生徒自身の成績や学校の功績にもかかわる一つのテストのようなものです。

UIL<sup>1</sup>と呼ばれているこのコンテストは、本番として開催される UIL とそのリハーサルとして開催される PRE UIL がありました。そもそも、その UIL がどのようなものなのかもわかっていなかったのですが、周りや先生がピリピリしていることが明るみとなっていきました。友達にこれはどういうコンテストなのかを聞いたら、「すごく大事なもので、もちろん自分自身のメジャーな成績の一つでもあり、学校としての功績となるものだから特に先生は力を入れている」ということを言っていました。



↑教会での歌唱

このコンテストでは、3曲ほどの歌とサイトリーディングと呼ばれる、その場で初めて見る楽譜を見、そのままに書いてある音を歌うというもので評価されます。今回歌った3曲は、ドイツ語と英語、そして日本語の曲をやりました。コーラスの先生が、今年日本語をしゃべる私がいるということで、日本語の曲を選んでくれました。曲としてはアメリカの人に作られたものですが、言語は日本語なので、日本語の発音を教えたり、たまに意味を教えたりしてこの曲を楽しみました。また、ドイツ語と英語の曲は今まで歌ってきたものと比べるとレベルが高く、色々な所で苦戦をしながら練習を重ね、UIL へと準備をしていきました。

春休みが終わるとすぐに、リハーサルにあたる PRE UIL があり、私にとって初めての UIL

<sup>1</sup> 後日調べたところ、University Interscholastic League の略で、テキサス州独自の制度であることが分かりました。日本の「高体連」「高文連」「高野連」が一緒になったものをイメージすると分かりやすいかもしれません。ウェブサイト <https://www.uiltexas.org/>

の合唱を体験しました。会場はある教会で、初めて教会で歌う私としてはとてもいい経験でした。PRE UIL を終え、審査員の人たちからそれなりにいい評価をもらえたため、本番の UIL に向けて頑張ろうという形で、良いターニングポイントになりました。それに加え、その夜、親や周りの人に披露する別のコンサートが学校でありました。一日中歌ったということで、とても疲れたけれど、無事良い形でその日を終わらせることができました。

PRE UIL からちょうど2週間後、本番の UIL がやってきました。少しばかりの緊張とともに2週間練習に励み、本番でも自分たちにできることをしました。結果としては、曲の方でもサイトリーディングの方でも最もよい評価がもらえ、賞<sup>2</sup>をもらうことができました。私が所属しているコーラス<sup>3</sup>は一番初心者のもので、そのレベルのコーラスがこの賞をとれたのはこの学校では初めてのことだったということなので、強く思い出に残るコンテストになりました。他にも最近、コーラスだけでなく、締めくくりのテストなどで学校中が忙しくしています。



↑受賞後の様子

3月から4月の初めにかけてイースター（復活祭）の季節として周りが盛り上がっていました。いろいろなパステルカラーのイースターのデコレーションがいっぱいでした。イースターについて聞いたことはあっても実際どういうものなのかは知らなかったのですが、一つの大きなイベントで、クリスマスのように家族で集まってお祝いをしたり、イースターバ

ニーと呼ばれるウサギが子供に対してプレゼントを持ってきてくれたりするものだそうです。

3月31日のイースターの日、朝起きると私とホストシスターたちに対するプレゼントでいっぱいでした。最近編み物にはまっている私に対しては大量の毛糸やキャンディーなどがプレゼントとしておかれていてすごくう



<sup>2</sup> 5段階で評価され、「最もよい（1）」の評価をもらいました。

<sup>3</sup> 正式名称は、Sub Varsity Choir といいます。他に、Non Varsity Choir や学校代表である Varsity Choir がありました。

れしかったです。

お昼になると、親せきの家に行ってお飯を食べ、お庭に隠されているイースターのお菓子などが入っている卵探しをしました。また、コンフェッティ・エッグと呼ばれる卵の殻の中に紙吹雪が入っているものを投げ合ったり、叩き合ったり、頭にかけてあったりなどして楽しく過ごしました。



↑エッグハントをしました。



↑コンフェッティ・エッグが当たると紙吹雪だらけになりました。

最近の大きな出来事として、4月8日に皆既日食があったことが挙げられます。ホストシスターの誕生日祝いもかねて親せきの家で日食を見ました。テキサスで前回見られたのは1878年だそうです。(日本で見られるのは11年後だと知りました。)親せきの家に着くと、誕生日祝いということもあり、ホストシスターの好きなものを夕食に食べ、裏庭で遊んだりし、翌日の昼になるまでいろいろな楽しいことをして過ごしました。

お昼になり、皆で誕生日ケーキと専用のメガネなどを持って裏庭に行きました。何度も空を見返し、だんだん太陽の形が変わっていくのを観察し、皆既日食が起こるのを待ちました。皆既日食が起こる時間に空を見上げてみると、太陽の形がものすごいスピードで変わっていき、一瞬であたりが暗くなりました。それから、暗い状態が長くは続かず、瞬間に太陽の形が変わり、だんだん明るくなり、何もなかったかのような普通の明るさになりました。この驚くべき変化がたったの2分間で起こり、これを見られるのがめったにないことだと考えると私自身も家族の皆もととても驚いたし、興奮もしました。秋に起きた金環日食も見ることができ、1年に2回も日食を見ることができたので素晴らしい思い出が残りました。



また、さらに1ヶ月ほど前には、レターマンジャケット<sup>4</sup>というものを手に入れました。これは各学校独自のジャケットで、何かしらの資格がある生徒のみ手に入れられるものだと思います。スポーツやクラブ活動での実績でジャケットをもらう資格が得られます。私の場合は水泳の活動でジャケットの資格があったため、手に入れました。自分の名前、学校のイニシャル、水泳のバッジなどがついています。一人一人デザインが違って、日本にはないもので形に残るのでこれも留学生活の醍醐味の一つだと感じています。このジャケットは今では私のお気に入りのものです。

その他にもいろいろな楽しいことがあって、残りの滞在期間の短さによく驚かされますが、残りの少ない期間を楽しんで過ごしていきたいと思います。



---

<sup>4</sup> letterman とは、部活動等で優秀な成績をおさめ、母校の頭文字のマークをシャツにつけることを許された学生のことです。私が通う学校は Travis High School なので、大きな T がジャケットについています。